

事業報告書				
医療法人整理番号		0 1 0 3 6		
報告期間	自	令和4年4月1日		
	至	令和5年3月31日		
1 事業報告書の概要				
	(1) 名称	医療法人内野会		
	分類	社団（出資持分あり）		
	分類	その他		
	分類	基金制度不採用		
	(2) 事務所の所在地	都道府県	熊本県	分類 から のそれぞれの項目（ は社団のみ。）について、該当するものをリストから選択すること。（会計年度内に変更があった場合は変更後。） 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
		市区町村	熊本市南区	
		町名・番地	八幡五丁目 1 0 - 1 2	
		建物名		
		従たる事務所の記載はこちら		
	(3) 設立認可年月日	昭和26年2月27日		
	(4) 設立登記年月日	昭和26年3月22日		
	(5) 理事長の氏名	姓	内野	
		名	貴久子	
	役員及び評議員の人数	5		
	役員及び評議員	記載はこちら		
2 事業の概要				
	(1-1) 本来業務（病院、診療所）	記載はこちら		
	(1-2) 本来業務（介護老人保健施設、介護医療院）	記載はこちら		
	(2) 附帯業務	記載はこちら		
	(3) 収益業務	記載はこちら		
	(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	記載はこちら		
	(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債	記載はこちら		
	(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債	記載はこちら		
	(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設	記載はこちら		
	(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	記載はこちら		
(9) その他	記載はこちら			

(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないと、
全ての指定内容について記載しても差し支えない。
当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

事業報告書					
2-(1) 本来業務					
(介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)					
種類	施設の名称	指定管理	開設場所	入所定員	通所定員

注) 1 . 地方自治法第 2 4 4 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
2 . 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
3 . 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

事業報告書			
2-(2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第 4 2 条各号に掲げる業務)			
種類又は事業名	委託管理	実施場所	備考

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を委託管理の欄に記載すること。

様式 1 : 2-(3) (G-MIS様式)

[illegible]

事業報告書

2-(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

日付	議決又は同意した事項
令和4年5月23日	令和3年度決算の確定
令和5年3月27日	令和5年度の事業計画及び収支予算の決定、令和5年度の借入金額の最高限度額の決定

注) 2-(5)、2-(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

2-(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

[illegible]

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。
医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

[illegible]

注)

1. 医療機関側を購入する医療法人は、医療機関側の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ当該医療連携を継続するとが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。
2. 購入した医療機関側名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は権限証書の写しの添付に代えても差し支えない。

2-(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

目付	開設（許可を含む）した主要な施設
----	------------------

2-(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	
日付	他の法律、通知等において指定された内容
注）全ての指定内容について記載しても差し支えない。	
2-(9) その他	
日付	記載事項
注）当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）	

様式 2

法人名 医療法人 内野会

医療法人整理番号01036

所在地 熊本市南区八幡五丁目10 - 12

財 産 目 録
(令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

1 . 資	産	額	201,902 千円
2 . 負	債	額	140,095 千円
3 . 純	資 産	額	61,807 千円

(内 訳)	(単位 : 千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	51,499
B 固 定 資 産	150,403
C 資 産 合 計 (A + B)	201,902
D 負 債 合 計	140,095
E 純 資 産 (C - D)	61,807

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (☐ 法人所有 ☐ 賃借 ☒ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (☒ 法人所有 ☐ 賃借 ☐ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

貸借対照表
令和5年3月31日 現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	51,499	流動負債	35,275
固定資産	150,403	固定負債	104,820
1 有形固定資産	134,973	(うち医療機関債)	
2 無形固定資産	1,580	負債合計	140,095
3 その他の資産	13,850	純資産の部	
(うち保有医療機関債)		科目	金額
		出資金	1,987
		積立金	59,820
		(うち代替基金)	
		評価・換算差額等	
		純資産合計	61,807
資産合計	201,902	負債・純資産合計	201,902

(注) 1. 表中の勘定科目については、変更しないこと。

法人名 医療法人 内野会
所在地 熊本市南区八幡五丁目 1 0 - 1 2

医療法人整理番号	01036
----------	-------

損 益 計 算 書
自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

(単位 : 千円)

科目		金 額	
事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			185,573
2 事業費用			161,557
本来業務事業利益			24,016
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			
2 事業費用			
附帯業務事業利益			0
事業利益			24,016
事業外収益			1,973
事業外費用			1,823
経常利益			24,166
特別利益			358
特別損失			614
税引前当期純利益			23,910
法人税等			81
当期純利益			23,829

(注) 1 . 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること (自動表示) 。
2 . 表中の勘定科目については、変更しないこと。

様式5

法人名 医療法人内野会

医療法人整理番号	1036
----------	------

所在地 熊本市南区八幡五丁目 1 0 - 1 2

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人内野会

理事長 内野 貴久子 殿

私は、医療法人内野会の令和 4 会計年度（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 3 1 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 5 年 5 月 2 4 日

医療法人内野会

監事

